

河川防災ステーション説明会

国土交通省 北陸地方整備局
千曲川河川事務所

河川防災ステーションとは

- 洪水等の発生時における河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動の拠点として河川管理者が河川管理施設として整備しているもので、大半は水防センター(市町村等が水防活動を円滑に行う拠点)を併設しています。
- 河川防災ステーション(水防センター含む)は、平常時においても利活用のポテンシャルを有しており、すでにいくつかの施設で活用がなされています。

<災害時>

- 被災箇所の復旧工事のための材料備蓄
- 排水ポンプ車など災害対策車両、防災ヘリの拠点
- 水防活動の拠点(水防団)



<平常時>

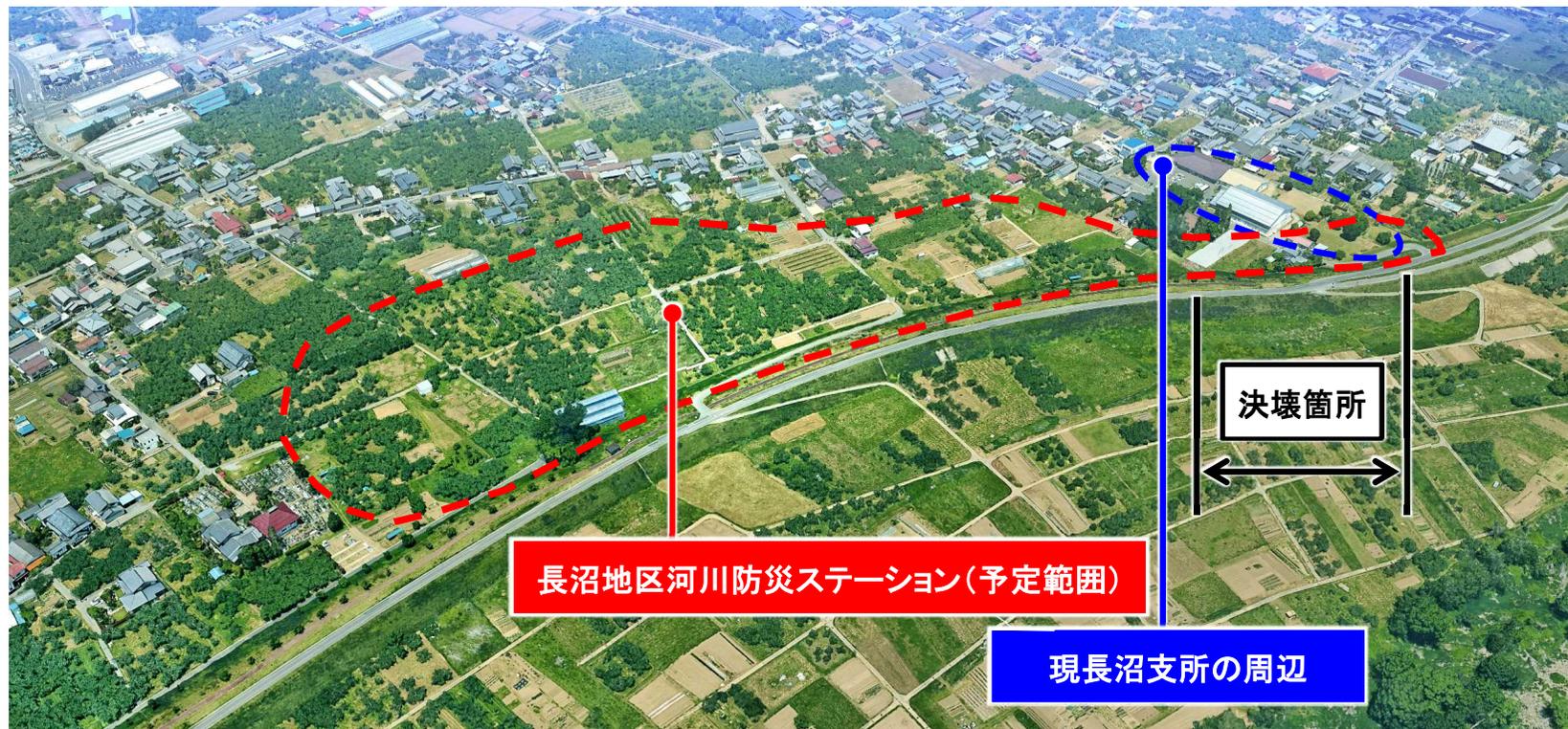
- 地域のコミュニティースペースとして活用
- 水防活動の訓練などに利用
- 防災学習の場や川の情報発信拠点として水防センターを活用
- 市と連携したその他の取組み



河川防災ステーションの位置について

○河川防災ステーションの位置については、以下の項目を考慮して選定。

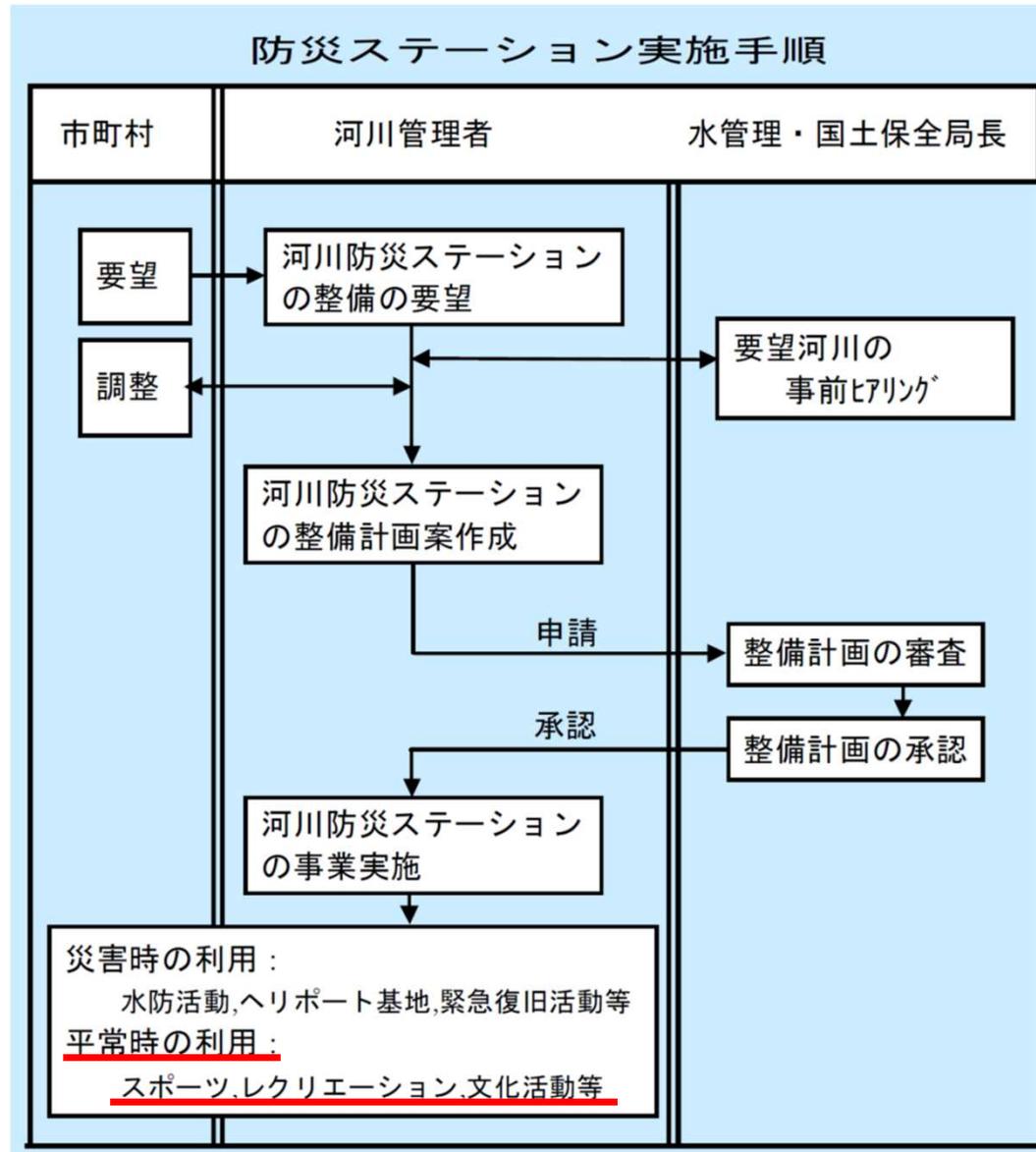
- 洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所(重要水防箇所)の状況
- 大きな被害を受け、水防活動や緊急復旧の実績のある区間
- 想定される水防活動及び緊急復旧活動にかかわる輸送路の併設
- 平常時にも一般の利用が活発に行われ、河川を軸とした文化活動の拠点として活用されるとともに、河川事業の展示活動、研修などが展開できる地域
- 地域や地元自治体と連携できる環境や場所



※防災ステーションを検討する最大範囲

河川防災ステーションの実施手順について

- 洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、設置位置、規模、事業効果、その他必要事項を記入した整備計画を作成し、水管理・国土保全局長に登録する必要がある。
- 河川管理者と水防管理者が一体となって整備する施設なため、市町村等と調整が図られた計画が設置要望の必須条件となる。



河川防災ステーションの整備について(関連施設)【長野市】

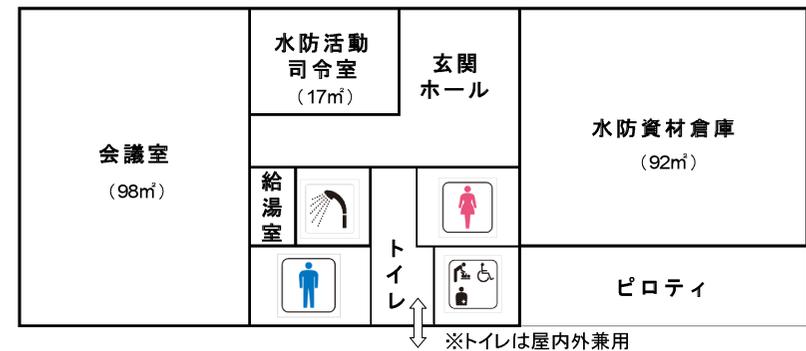
○水防活動の拠点となる水防センターや災害時に参集する水防団員、国、市など関係機関の担当者が使用する駐車場を整備。

①水防センター・・・水防活動時の拠点(司令部、待機場)、水防資材倉庫。
→詳細は現在検討中



水防センターの事例(嘉瀬川防災ステーション、佐賀県)

【間取り図】



②駐車場・・・水防団員、国、市など関係機関の担当者参集時の駐車場。
→水防団員、関係機関の担当者数から面積を設定



水防団員による水防活動(排水作業)



水防団員による水防活動(月の輪工法)

○復旧活動を行う重機の運用に必要な施設を整備。

③ヘリポート

- ・・・復旧資材運搬や被災者の救助用ヘリコプターの離発着。

→国交省保有の最大の災害対策ヘリコプターの離発着に必要なスペースを確保



ヘリポートの事例(肱川河川防災ステーション、愛媛県)

④車輛転回場

- ・・・資材運搬車両、重機の回転場。

→資機材を運搬するトレーラーの転回に必要な面積を確保



車輛転回場で想定する資材運搬車両の例

⑤災害対策車輛庫

- ・・・排水ポンプ車、照明車の車輛庫。

→類似施設の事例を考慮して面積を設定



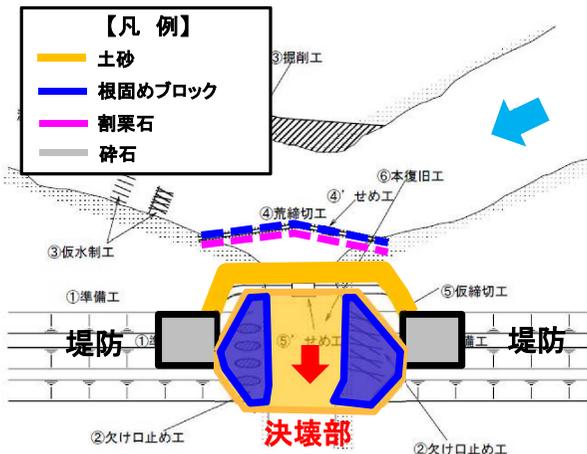
災害対策車輛庫の事例(肱川河川防災ステーション、愛媛県)

○堤防決壊など、被災箇所の復旧に必要な資材を備蓄。

⑥備蓄材・・・土砂、根固めブロック、割栗石、碎石(※各面積や資材数量等の詳細については、現在検討中。)

- 土砂・・・・・・・・堤防被災時の復旧材料として使用。
 →決壊部復旧の必要土量から設定
- 根固めブロック・・・・被災部保護、決壊部締切に使用。
 →決壊した堤防断面保護と「荒締切」に必要な個数から設定
- 割栗石・・・・・・・・堤防決壊時の締切材料(間詰)として使用。
 →「荒締切」に使用する根固めブロック間詰めに必要な量
- 碎石・・・・・・・・工事現場の凹凸均し材料として使用。
 →堤防決壊部上下流の工事現場への敷き均し量を想定

堤防決壊復旧の使用材料



出典: 堤防決壊部緊急復旧工法マニュアル
 財団法人 国土開発技術研究センター H元.6月に加筆

穂保地先の堤防決壊復旧時の使用材料



土砂(碎石含む) : 約2.5万m³
 根固めブロック : 約500個
 割栗石 : 約850m³

河川防災ステーションの平常時利活用について(地元との協働)【事例:三条防災ステーション(新潟県三条市)】

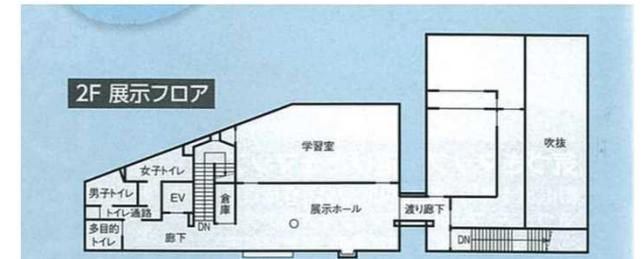
- 新潟県三条市を襲った水害を教訓とし、被害状況の記録や水害の疑似体験等を通じて市民の防災意識の向上を図る。
- 地域間交流促進のための観光情報についても発信。



▲水害についての記録

▲危険箇所・避難場所等の情報と図解

水害を忘れず、水害に学ぶ 三条市水防学習館



▲浸水被害スケールの体験

▲観光情報の発信

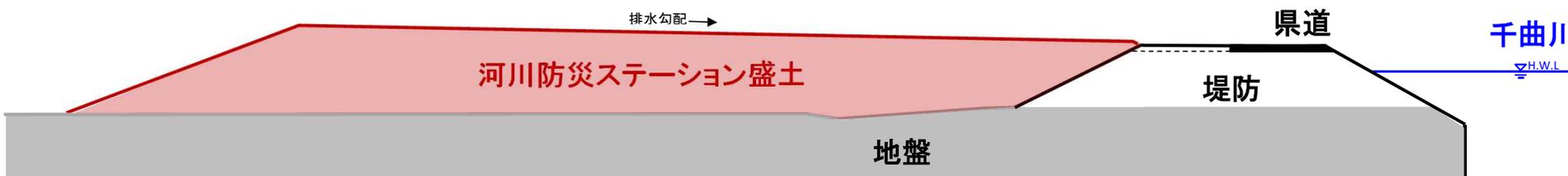
長沼地区河川防災ステーション: イメージパース<案①> ※縦断的に盛土を配置した案



※イメージパース案は、河川防災ステーションのイメージをもって頂くもので、あくまで検討案であるため、範囲等の詳細については今後変更となる可能性がある。

断面イメージ

※各面積や資材数量等の詳細については、現在検討中。
※防災ステーション上部の地形については、利用形態により変更が可能。



長沼地区河川防災ステーション:イメージパース<案②> ※長沼城土塁跡保全案



※イメージパース案は、河川防災ステーションのイメージをもって頂くもので、あくまで検討案であるため、範囲等の詳細については今後変更となる可能性がある。

断面イメージ

※各面積や資材数量等の詳細については、現在検討中。
※防災ステーション上部の地形については、利用形態により変更が可能。

